

交野古文化同好会

考古・歴史・民俗の頭文字を取って考歴民（これみ）と名付けました。

### 職業はすべて農業からはじまる？

民という言葉がある。

国民の民、日本の民タミ。タミ（民）の語源は、「田を作る身」の田身に由来するという。

日本の民は、農民なのである。奈良時代にかけては、政府が土地を国民に貸して、耕させた。

土地は国家のもので、国民は国から土地を借りてタミ（田身）としてせっせと米を作った。



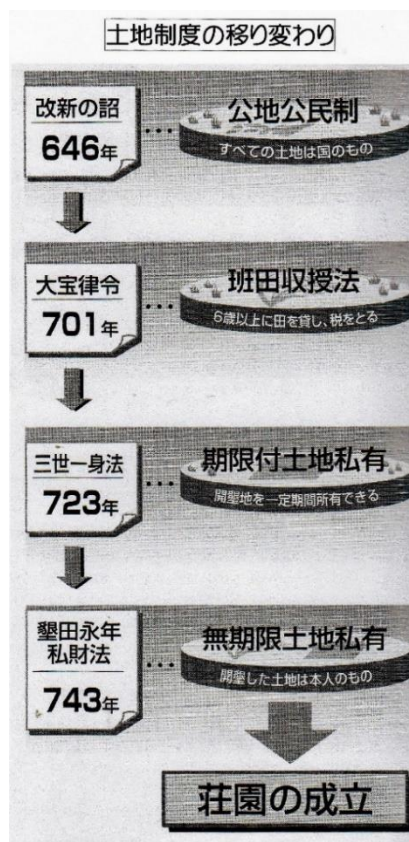
実りの秋



現在はすべて機械化

古代の日本人は、生まれると公に仕える農民就職したことになる。タミを作った作物を集める、大きな家がある。それがオオヤケ（大宅）、首長の家である。オオヤケ（公）とは、大きな家。一番大きなオオヤケ（大宅）は、朝廷である。われら公民とは、朝廷の農民の意味になる。

さて、農民が作った収穫物はアキと呼ばれた。その収穫のある季節がアキ（秋）である。収穫物（アキ）を市場に出して売るのがアキナイ、つまり商いである。収穫物を専門に扱う人がアキンド（商人）。



政府が公地公民の原則を放棄し、大規模な私有地（荘園）が発生。

「荘園」とは、貴族や寺社が現地に設けた別宅や倉庫と、その管理区域である土地を含めたものをいう。

#### <三宅山荘園の構成>

交野地方の荘園で文献に残っているのは、石清水八幡宮寺領荘園としての「交野郡字三宅山」と興福寺別院円成院領の星田壮（牧）とである。この外倉治も誰かの荘園だったと思われるが、明らかな記録がない。

みやけは三宅・屯倉・御宅等の文字をつかい、その始めは天皇領の米庫の意味から広がって、天皇領の土地もみやけということになった。

#### <三宅山荘園の構成>

	+	山	.....	1400 町
三宅山 1429 町	—	御倉并館院等内地	.....	6 町
	—	免田 (佃)	.....	23 町